



ほとんど風がなく、歩き始めると蒸し暑さを感じる陽気で、始める頃はツバメやヒバリ、スズメなどがよく鳴いていました。百年の森の南側では、オオヨシキリの声が聞こえてきました。笹が刈り込まれた窪地に入るとバッタやキリギリスの幼虫がたくさん見つかりました。



ネムノキ 夜になるとねむる木の意で、夜になると葉が合わさるように閉じる睡眠運動を起こすことが由来です。花冠は緑色で短いので目につきにくい。



ツバメ
電線に止まってジュクジュクと鳴いていたり、飛び回っている姿をよく見ます。一回り大きく腰に赤い斑紋のあるコシアカツバメも見られます。



イソノキ

水辺に生えることが由来との説があります。わずかに開く萼の内側に花卉が見えます。花期は長く、蜜を求めて虫がやって来ます。



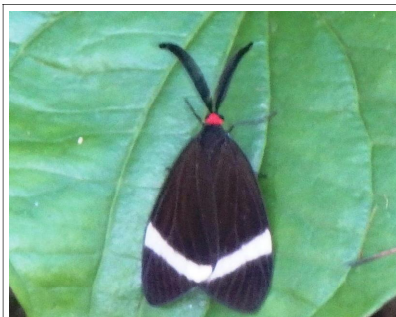
トガリアシナガグモ

体が黄色く脚の長い蜘蛛で腹部の先が尖って見えます。巣はほぼ水平の円網。脚が長いのは巣の縦糸の数を減らしコスト削減をしているとの説があります。



ヤマモモ実

赤く熟した実が手の届く所に見えたので試食してみました。少し癖のある味を予想したら意外と水気たっぷりでおいしかったです。



ホタルガ

林の縁の薄暗い所をひらひら飛び、白い帯模様が鮮やかに見えました。食草はヒサカキです。頭部が赤く翅が黒く、ホタルを連想させます。



エビイロカメムシ

体長 18 ミリ。頭部が△で胸が角張っています。成虫で越冬し春に卵が生まれます。ススキに止まっていたました。



アミメアリ

体長が 3 ミリに満たない赤茶色の蟻です。餌を求めて集団移動する姿がよく見られます。女王は存在せず、少数の若い働き蟻が産卵します。雑木林の方へ歩いている集団の中に幼虫をくわえた蟻がいました



アカマダラメイガ

体長 10 ミリ。前翅に紅色の帯があります。食草はマメ科のメドハギやミヤコグサなど、初夏から夏に見られます。



ブランコヤドリバエ

体長 10 ミリ。胸部に 4 本の縦筋が見られ脚先は足袋をはいたように広がっています。蝶や蛾の幼虫に寄生します。



セグロイナゴ幼虫

他のバッタ類の幼虫より数が少ないですが確認できました。自然度が高い場所に見られるバッタです。



オオアトボシアオゴミムシ

体長 17 ミリ。翅の後方の黄色い斑紋が翅の端までつながって見えます。斑紋後方に黄色の毛が密生しています。

植物 ハルシャギク、ムラサキツメクサ、セイヨウミヤコグサ実、ニワゼキショウ類、ネジバナ、ワルナスビ、メリケンムグラ、ブタナ、ヘラバヒメジョオン、ヒメジョオン、コモチマンネングサ、ヒルガオ、イシミカワ、チガヤ実飛ぶ、ミコシガヤ、アゼナルコ、アゼスゲ、テリハノイバラ、イソノキ、アメリカノウゼンカズラ、クチナシ、シモツケ、アカメガシワ、テイカカズラ、サワフタギ実、シラカシの実、イロハモミジ実、ヤマモモ実熟す、ヤマブキ実、ミツバアケビ実、シラカシ実、ホオノキ実生が大きくなる2m、**昆虫** キタキチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ホシミスジ、ムラサキシジミ、ホタルガ、アカマダラメイガ、カノコガ、不明蛾幼虫1、ハラヒシバッタ、バッタ類幼虫(ツチイナゴ、セグロイナゴ、ツユムシ、ホシササキリ、キリギリス、ショウリョウバッタ)、コオロギ類幼虫、カマキリ幼虫、ハゴロモの外来種幼虫、シラホシカメムシ、エビイロカメムシ、オオモンシロカメムシ幼虫、不明カメムシ幼虫、コシアキトンボ、イトトンボ類羽化直後、オオアトボシアオゴミムシ、キマワリ、マメコガネ、ウスイロサルハムシ、ノコギリクワガタ死骸、ウツギノヒメハナバチ巣穴、クロヤマアリ、アミメアリ引越し、キイロシリアゲアリ、セイヨウミツバチ、タイワンタケクマバチ、サトジガバチ、ミカドガガンボ、アシナガキンバエ類、ブランコヤドリバエ、クロミヤクチャタテ幼虫、**蜘蛛** ジョロウグモ幼体と巣、トガリアシナガグモ、ササグモ、チュウガタシロカネグモ、ヤマシロオニグモ幼体、不明の卵のう、**鳥** スズメ、ヒバリ、ツバメ、ホオジロ、オオヨシキリ声、シジュウカラ声、ウグイス声、カワウ営巣、カワセミ、**その他** ザトウムシ、カナヘビ、ナミコギセル、イセノナミマイマイ、コハクオナジマイマイ **次回: 7/11は、18(木)に変更します** 午前9時30分 水資源機構・P前 雨天中止 参加費100円